

2025年 3月21日

静岡県知事 鈴木 康友 様
静岡県教育委員会教育長 池上 重弘 様

静岡県PTA連絡協議会
会長 宮下 修一

要望書

現在、少子化の進行に伴う学校の統廃合の増加、地域と学校が一体となって進めるコミュニティ・スクールの導入、過重労働になりがちな教員の負担軽減を目的とした教員の働き方改革の推進、部活動の地域展開等、学校を取り巻く状況は大きく変化してきています。

教育環境が時代とともに変わるのは当然のことではありますが、それに伴い、子どもたちが学ぶ環境をさらに豊かで充実したものに変えていくように、学校・地域・保護者が一体となって取り組んでいく必要があります。

そこで、静岡県PTA連絡協議会は、静岡県知事及び静岡県教育委員会教育長に対して、「静岡県の子どもをみんなで育てる」という観点から、以下の点について要望いたします。

【要望】

1. 子どもたちが豊かな学びを得るための教員の働き方改革推進とメンタルケアの充実

子どもたちが学校において豊かで十分な学びを得ることができるようにするために、授業以外の業務の軽減を含む教員の働き方改革を引き続き進めるとともに、教員定員を充足し、さらに教員数を拡充するとともに、そのための人材を確保するように努めていただきたい。また、悩みを抱える教職員のメンタルケア等のサポートの充実化を図り、教職員が安心して子どもたちと向き合える環境を整えていただきたい。

2. 子どもたちのメンタルケアと子どもの居場所づくりへ向けた支援の充実

近年、ますます必要性が大きくなってきているスクールカウンセラー制度のさらなる充実強化を図り、不登校・経済的困窮・虐待等、さまざまな悩みを抱える子どもたちのメンタルケアを行うための支援に万全を期していただきたい。また、そのような子どもたちの居場所を確保できるよう、学校の内外におけるサポート体制を強化していただきたい。

3. GIGA スクール構想と教育DX化の推進に伴う環境整備の促進

現在、小中義務教育学校では1人1台の情報端末をもつGIGAスクール構想やDX化が進められているが、それに対応する教員の研修等の支援や古くなった情報端末の更新・拡充等の環境整備を進めていただきたい。

4. 部活動の地域展開の円滑な実現

中学校における部活動の地域展開については、生徒の意欲や希望を尊重すること、家庭の経済状況によって取組に格差が生じないようにすること、各学校の部活動自体が縮小・廃止とならないこと等に十分配慮しつつ、円滑な実現に努めていただきたい。

5. コミュニティ・スクールと小中一貫教育を推進するための地域人材の確保

コミュニティ・スクールと小中一貫教育が各地で推進されているが、その担い手となる地域の人材の育成・確保に努めていただきたい。特に、学校・地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）や放課後子ども教室の担い手の育成・確保に向けた取組を支援していただきたい。

6. 学校施設の整備と快適な学習環境の確保

各学校においてすべての特別教室・体育館にエアコンを速やかに設置する等、学校施設の充実・強化を図り、子どもたちが安心し、かつ安全に学ぶことができる環境整備を促進するために必要かつ十分な予算を確保するよう、国に働きかけていただきたい。

7. 学校の統廃合後の地域・P T A支援の強化と学習環境の維持

学校の統廃合により児童生徒の学習環境が大きく変わらないように努めるとともに、地域コミュニティやP T A組織の活動を支援していただきたい。特に、山間地における学校の統合に際しては、スクールバスの確保等を確実にを行い、通学等に支障が出ないよう、支援をしていただきたい。

8. 学校と通学路の安全確保に向けた啓発の強化

子どもたちが安心して学校で学ぶことができるように、学校及び通学路の安全の確保及び防犯対策の向上に関する啓発を強化するよう努めるとともに、市町や関連団体等に働きかけていただきたい。

9. 防災対策の強化

南海トラフ地震等の発生を想定し、子どもたちの生命を守るために、地域と学校が一体となった避難訓練の実施や学校内外の避難経路の確認等、防災対策をより一層強化するよう努めるとともに、市町や関連団体等に働きかけていただきたい。

10. バランスがとれた給食の提供・充実と給食の無償化の公平な推進

物価の高騰により給食に必要な材料費も高騰しているが、子どもたちの成長を支えるために、バランスがとれた給食を提供し、さらに充実を図るために必要な支援をするよう、国に対して働きかけていただきたい。

また、給食費の無償化等の施策を進める際には、引き続き地産地消に十分に配慮するとともに、静岡県内の市町ごとに差が生じることがないように、国に対して働きかけていただきたい。